別表３－３　排煙風量測定記録表（Ａ４）　加圧式（加圧防排煙設備）

測定年月日		測定機器　メーカー名		型式番号等	

1	給気送風機系統(機器番号等)	給気送風機銘板表示	給気送風機の性能（風量）
			m^3/min

2	遮煙開口部・空気逃し口							判定
	階	室　名	空気逃し口の方式[*注1)]	測定排出風速[*注2] (m/s)	規定排出風速[*注3] (m/s)	算定式[*注3]	遮煙開口部の高さ(m)	
			1.自然方式　□ 2.機械方式　□ 3.併用方式　□					指摘なし・要是正
			1.自然方式　□ 2.機械方式　□ 3.併用方式　□					指摘なし・要是正
			1.自然方式　□ 2.機械方式　□ 3.併用方式　□					指摘なし・要是正
			1.自然方式　□ 2.機械方式　□ 3.併用方式　□					指摘なし・要是正

3	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有　・　無	指摘なし　・　要是正

4	排煙系統図（給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること）

注1）「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。

注2）「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注3）隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Ｖの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Ｖは排出風速、Ｈは遮煙開口部の高さを表す。

①$V=2.7\sqrt{H}$　②$V=3.3\sqrt{H}$　③$V=3.8\sqrt{H}$

注4）自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。